

令和元年度 国立那須甲子青少年自然の家 教育事業
「なすかしの森 のびのびキッズ（夏編）」報告
令和元年8月24日（土）～8月25日（日） 1泊2日

【目的・趣旨】

幼児が自然の中での様々な遊びにより、好奇心や探求心が刺激されると同時に、体を動かすことの楽しさを知り、徐々に自信をつけていくことで子供の積極性や個々の興味関心を引き出す。なすかしの森の中で、多様な動きの獲得、体力・運動能力の基礎を培う機会を提供する。

また、保護者に対しては、様々な遊びを通じて育まれる幼児の多様な動きや好奇心・探求心への気づきの場を提供するとともに、幼児が自然の中で遊ぶ上での安全を考える学びの場とする。



【連携先】

・郡山女子大学短期大学部

【募集対象／実績】

《募集対象》4歳以上の未就学児とその保護者 15家族30名程度

《実績》15家族39名申込、11家族26名参加（大人13名、子供13名）

【プログラム概要】

【1日目】令和元年8月24日（土） 天候：晴

10：30 集合・受付 [玄関ホール]

11：00 はじめの会 [わくわくひろば]

12：00 昼食 [わくわくひろば]

持参したお弁当を、ひろばにある木のテーブル・椅子で食べました。

13：00 ハイキング・沢遊び [キビタ沢]

沢あそびポイントまでハイキングをしました。

沢ではバケツや網を使いながら自由に遊びました。

17：00 タベのつどい [集いの広場]

17：20 夕食 [食堂レストラン]

18：30 キャンプファイヤー [営火場C]

大きな火を囲んで、ゲームやダンスをしました。

20：00 入浴 [浴室]

21：00 就寝 [各宿泊部屋]

【2日目】令和元年8月25日（日） 天候：晴

07：00 朝のつどい [集いの広場]

07：20 朝食 [食堂]

09：20 自然散策、ミッションオリエンテーリング [わくわくひろば]

親子でミッション達成を目指すオリエンテーリングをしました。

10：30 アウトドアクッキング [野外炊事場]

メニューは豚汁とおにぎりです。

13：00 おわりの会 [野外炊事場]

13：30 解散

【成果】

- ・昨年度の同様の事業では3歳以上の未就学児を対象としていたが、昨年度から連携協力を依頼している郡山女子大学短期大学部の柴田氏からの助言を受け、発達段階を考慮して今年度は4歳以上の未就学児を参加対象とした。結果として事業全体を通し、参加者全員が大きな遅れをとることなくプログラムに参加することができていた。
- ・発達段階に個人差があることを考慮し、時間にゆとりを持たせた計画を立て運営にあたったので、逐次休憩をはさみつつ、参加者を急かすことなくプログラムを進めることができた。
- ・野外炊事では、火を起こす、野菜を切る、おにぎりを握るなど役割を多様に設けることで、参加者全員が興味のある役割を見つけ意欲的に取り組むことができた。また、調理器具を運ぶところから片付けるまで子供たちが関わることで、多様な動きを取り入れることにも繋がった。
- ・入浴で、男湯・女湯で親子がバラバラになる際に、参加者同士でお互いの子供の面倒を見合うなど、家族間で協力し合う様子が見られた。
- ・ボランティア2名とも養成研修後初の事業参加であったが、非常に意欲的に活動に取り組んでいた。

《参加者の声》

「初めての体験でしたが、子供がいきいきと過ごしていて良かったです。また別のイベントにも参加してみたいです。」「子供を考えたプログラムで良かった。」「体をたくさん動かし、楽しかった。」「(ボランティアスタッフに対して)子供の対応力がすぐれていて、親の負担をサポートしてくれた。」「普段なかなか体験できない自然体験ができてよかった。」等

【課題と方策】

- ・沢遊びの際に服装について。肌の露出を抑えた格好で活動した方が、虫刺されや擦り傷等の心配もなく、活動の幅が広がる。明確かつ具体的な事前案内が必要。
- ・沢遊びの際に、バケツや魚網などの道具を遊び始めの段階から渡したが、遊び途中で渡しても良かった。何も道具がない状態から遊び始めることで、遊びに創造性が生まれ、遊びの幅が広がる。
- ・ミッションオリエンテーリングでは、親子によって達成するまでの時間に大きく差が出た。早く達成した親子が取り組めるフリーのプログラム(簡単なクラフト等)を用意しておくとう良かった。
- ・ミッションオリエンテーリングの内容について。今後研修支援のプログラムとして活用するために、認知に関するミッションを取り入れるなど、年齢に応じたオリエンテーリングシートの作成にあたる。

国立那須甲子青少年自然の家 [作成] 事業推進係：岩谷 香



以下、各プログラム内容詳細

【ハイキング、沢遊び】

小学生や中学生を対象とする団体に通常案内しているコースよりも短い距離で沢遊びポイントまで到達できるコースを設定し、ハイキングを行った。途中で木の実や葉っぱを集める



【キャンプファイヤー】

対象が幼児であることを考慮し、30分程度の短時間でプログラムを実施した。儀式的なものは省略し、炎の明るさ・温かさを感じながら簡単なゲームを楽しんだ。

(以下キャンプファイヤーの流れ)

- ① 親子でトーチ棒を持って着火
- ② ミニゲーム (じゃんけん列車等)
- ③ 歌、ダンス



【ミッションオリエンテーリング】

以下のミッションを達成するオリエンテーリングシートを配布し、親子毎に挑戦した。

- ・ロープに10秒ぶらさがろう！
- ・木の上で写真を撮ろう！
- ・タイヤアスレチックを渡ろう！
- ・木の上からジャンプ！大人はキャッチ！
- ・平均台を全コース渡ろう！
- ・丸太アスレチックを渡ろう！
- ・手をつないで平均台を渡ろう！
- ・丸太アスレチックの上と下でキャッチボール！
- ・お気に入りの場所を見つけて、家族で自分撮りをしよう！



【アウトドアクッキング】

メニュー：豚汁、おにぎり

材料や食器を運ぶ段階から片付けまで、参加者全員で取り組むことで、多様な動きを自然と取り入れられるようにした。火おこしや野菜の皮むき、炊きあがったご飯に具材を混ぜる作業やおにぎりを握る作業など多様な役割があり、それぞれの興味関心や発達に合わせた役割を担当することで、自主性や協調性を育む場となった。

なお、安全面や衛生面を考慮し、おにぎりを握る際はビニル手袋着用、火おこしの際は長袖長ズボン・軍手の着用を徹底した。

